

冬の一大イベント 第21回南砺ふくみつ雪あかり祭り

石黒地区、冬の一大イベント「南砺ふくみつ雪あかり祭り」は2月8日～9日の2日間にわたり、道の駅福光周辺で開催されました。

21回目となる今年は、過去に類を見ない暖冬のため積雪がなく、打ち上げ会場の整備に例年以上に苦労しました。幸いにも、3日前の降雪のおかげで周囲の山々が、雪化粧となって最高の条件で本番を迎えることが出来ました。

初日の前半は、天候に恵まれ順調に打ち上げられたが、後半は風雨が強くなり夕暮れの時から27基目で打ち上げ中止となりました。

2日目は、天候条件が良くて終了時間の午後6時まで、56基全てが順調に上がり、夕暮れの空に明々とバーナー火が灯り幻想的な情景が描かれました。

今年も例年通り、南相馬市からの中高生17名の受け入れが行われました。また、一昨年9月の北海道胆振地震の被災地である厚真町の小学生達が描いた「早期復旧・復興」を願う紙風船が上がり、被災地への思いを改めて共有する機会ともなった祭りでした。

〈石黒政経文化懇話会会長・松本 浩希 記〉

